

2021年度のベンチャービジネス研究所の活動を振り返って

追手門学院大学 ベンチャービジネス研究所所長 経営学部教授 村上 喜郁

当研究所所長就任2年目となりました村上喜郁です。2021年度も新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的流行が収まらない年でした。このような状況の中でも、2度目の東京オリンピックが開催されるなど、明るい話題もありました。遅れていた国民のワクチン接種も年末には2回目が8割に達し、年明けには医療従事者から3回目接種も始まっています。オミクロン株の登場など不安要素が残るものの、全体として良い方向に進んでいるように思われます。新型コロナウイルスと戦う医療従事者、製薬開発研究者の皆さんを応援しつつ、この災禍が早期に終息することを祈っております。

さてビジネスの世界では、昨年度からのいわゆる「働き方改革」は一層進展しています。また、DXやAIなどの技術の活用を進める企業の中には、過去最高益を記録するものもありました。しかし、観光や外食産業など、人と人の接触を必要とするサービス業では、新型コロナの蔓延状況に一喜一憂せざるを得ない状況も続いています。この回復と停滞の「K字回復」の状況は、またしばし続くかもしれません。ただし、日本のビジネスはこの状況を機会と捉え、業態転換と新事業への進出を進めることが、新しいコロナ後の世界への道だと私は考えています。

追手門学院大学においては、LMS（学習管理システム）の活用をさらに進めております。2021年度では、授業内容や履修者の多寡により、授業毎に対面授業と遠隔授業を併用する形で運営をおこないました。加えて一部授業では、新たなLMS「Knowledge Deliver」を導入し、学習成果の可視化も試みています。この新LMSを用いた遠隔授業は、コロナ後の教育においても対面授業との併用が決定しており、当学は効率的かつきめ細かい教育スタイルを模索している状況です。

当研究所の事業に目をやると、昨年同様にオンラインを活用した活動を実施するとともに、感染に配慮する形で対面型イベントをおこなうことも出来ました。オン

ラインでは、7月21日に㈱リーベン・ジャパン協賛「第8回 追手門グッズコンテスト」、12月9日にはフジテック㈱協賛「フジテック杯 第12回 追大 学生ビジネスプランコンテスト」を開催いたしました。また、それに先行して外部講師としてアプリー㈱代表取締役 福嶋伸之氏を招き、10回にわたる学生研究会を開きました。参加学生からは、「第23回 CVG大阪大会」のセミファイナル進出者、(一財) 学生サポートセンター主催「第19回 学生ビジネスプランコンテスト」アイデア賞受賞者を輩出しております。研究会に参加し努力を積んだ学生、そして、アドバイスいただいた福嶋先生に感謝いたします。

また、12月8日～9日、北おおさか信用金庫「きたしんビジネスマッチングフェア2021」では、井上秀一所員が「中小企業における管理会計」と題したセミナー動画を配信しております。同会では、感染に十分に配慮しつつ「ほくせつ探検大学」の学生メンバーが当研究所のブースを出展いたしました。同じく、11月17日～23日に千里阪急（百貨店）においてイベント「千里さんぽ」にも参加いたしました。加えて、対面で開催された北おおさか信用金庫に向けた研修「令和の地域金融機関管理職に求められるスキル向上プログラム（全15回）」には多くの所員が講師を務めております。

この様に、困難な状況の中でも多くの事業を実施することが出来ました。これも協力いただいた企業の皆様、学生の皆さん、所員の先生方他のご協力の賜物だと考えております。ここにお礼申し上げます。また現在、「withコロナ／afterコロナ」の中堅・中小企業に関わる研究プロジェクトを進めつつあります。来年度以降も、追手門学院大学ベンチャービジネス研究所は、「ベンチャービジネス研究」と「地域企業・自治体との連携」に一層尽力したいと考えております。関係の皆様におかれましては、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

Newsletter

追手門学院大学ベンチャービジネス研究所

第12回追大学生ビジネスプランコンテストを終えて

審査員 経営学部 准教授 **宮宇地 俊岳**（ベンチャービジネス研究所所員）

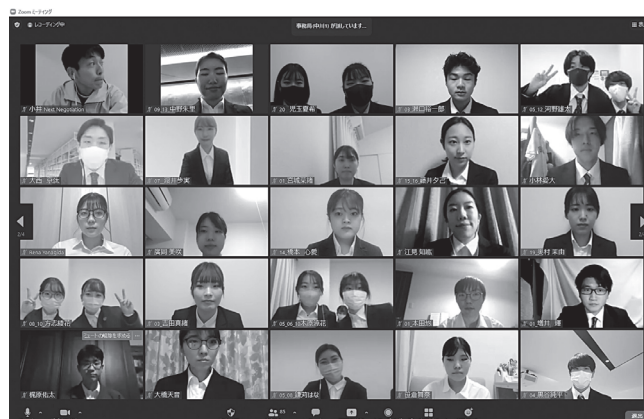
今年で第12回目を迎えたビジネスプランコンテストが無事に終了しました。今回は、コロナ禍であるにもかかわらず、第一次審査時点で85組の応募があり、その中から選ばれた20組が二次審査で発表する形となりました。

ビジネスプランを考える際には、世のニーズを探り、ビジネスに関わる各主体の利害を考慮し（引き出し）、事業アイデアとしてまとめあげていきます。今回は特別部門のお題が「カーボンニュートラルに向けたニュービジネス」であったこともあり、SDGsを意識したプラン（非営利型ビジネスに近いものを含む）が多かったことが印象に残っています。

SDGsを意識したビジネスプランは、社会的な意義の高いものが多くなります。他方で、ニーズがついてくるのか（お金を払ってまでその製品・サービスを手に入りたい／利用したいと思うか）という点や、想定するビジネスパー

トナーが自身の利害と照らして本当に協力してくるか、という点のハードルが上がります。報告をお聞きし、かなり複雑な（複数の主体を巻き込んだ）ビジネスプランを提案するチームが多かった印象があり、皆さんの苦勞の跡が見てとれました。しかしながら、多くの主体を巻き込み複雑な構造を描いた分だけ、協力を引き出せなかったり、コストが増えたり、事業上のリスクを抱えたりと、検討し乗り越えるべき障壁が増加します。もっと検討すべきことがあったかもしれません。

非営利性の強いテーマゆえに、結果的に複雑なビジネスプランを練り上げることとなる——その意味では、思考力を相当に使う訓練になったのではないかと考えています。今回の経験が、皆さんの今後の人生の一助となればと、審査員として願っております。



オンライン開催

第8回 追手門 グッズコンテスト

アイデア募集中!
採用されれば、グッズ化の可能性あり!

募集期間 2021年 5/10[月] ~ 6/17[木]

募集内容

部門1
コロナ禍における
安心安全な食べ歩きイベントの
実施に寄与するグッズ

部門2 追手門学院の
知名度向上につながる
新しいグッズ

応募資格

追手門学院大学の学生および
大阪府内の高校に通う高校生

賞(副賞)

最優秀賞	QUOカード	2万円分	全部門1組
優秀賞	QUOカード	1万円分	各部門1組
奨励賞	QUOカード	5千円分	全部門3組
動画賞	QUOカード	5千円分	全部門2組
質疑応答賞	QUOカード	5千円分	全部門1組
いばき賞	QUOカード	1万円分	部門1より1組
高校生敢闘賞	QUOカード	1万円分	1組

※賞及び副賞は変更になる場合がありますのでご了承ください。

主催 追手門学院大学ベンチャービジネス研究所

応募の詳細はこちら

プレ・追大学生ビジネスプランコンテスト

第8回 追手門 グッズコンテスト

●審査方法とスケジュール

5/10[月] ~ 6/17[木]

○第1次審査(受付期間)
提出された専用の応募用紙に審査を行います。

6月 未定

○第1次審査結果報告
審査を通過した学生には
6月末までに連絡します。
(CAMPUS SQUAREにも掲示(メール配布)します。)

7/21[木] 午後

○第2次審査
事前に作成してもらうプレゼンテーション動画と、
オンライン会議システムを使って行う質疑応答を
基に審査します。発表後と第2次審査の後、結果
発表と表彰を行います。

●募集内容とグッズのテーマ

部門1: コロナ禍における安心安全な食べ歩きイベントの実施に寄与するグッズ
部門2: 追手門学院の知名度向上につながる新しいグッズ

●審査基準

第1次審査: グッズアイデア(有用性・宣伝効果・実現可能性)
第2次審査: 第1次審査からの改善・発展度合、プレゼンテーション能力

●審査員

本学ベンチャービジネス研究所の所員・研究員・顧問、および外部の有識者の中から
審査委員を選出して審査します。

●応募方法・提出先

① 下記のホームページから応募ファイルをダウンロードし、必要事項を記入
ベンチャービジネス研究所HP <https://www.otemon.ac.jp/research/labo/venture/>

② 応募フォームに応募ファイルを添付して申込み
コンテスト応募フォームURL <https://ws.formzu.net/dist/S92870568/>

提出期間: 2021年6月17日(木) 23時59分

※ 申込書に添付できる容量は6MBまでです。
※ 応募後すぐに返送される「応募申込書を受け付けました」というメールが30分以内に届かない場合は、
至急事務局までメールにてご連絡ください。(事務局: info_vbk@otemon.ac.jp)
※ 電話やFAX、紙での応募は一切受け付けません。
※ 応募に関する質問や相談はこちまで: mihayama@otemon.ac.jp (地域創造学部 渡山)

●賞(副賞)

最優秀賞 (QUOカード2万円分 全部門1組) 優秀賞 (QUOカード1万円分 各部門1組) 奨励賞 (QUOカード5千円分 全部門3組)
動画賞 (QUOカード5千円分 全部門2組) 質疑応答賞 (QUOカード5千円分 全部門1組) いばき賞 (QUOカード1万円分 部門1より1組)
高校生敢闘賞 (QUOカード1万円分 1組) ※賞及び副賞は変更になる場合がありますのでご了承ください。

●その他の注意事項

・応募されたアイデアの知的所有権は追手門学院大学に帰属します。(アイデアをグッズとして制作する可能性があります。)
・受賞したグッズアイデアは、応募者または承を得て、掲載を公表します。
・審査結果の発表後、著作権や虚偽の内容等が判明した場合は受賞失格となります。

オンライン開催

フジテック杯 第12回 追大 学生ビジネスプラン コンテスト

応募期間 (1次審査) 2021 9/10[日] ~ 10/31[日] 2021 12/9[木] 午後(予定) オンライン開催

特別部門

カーボンニュートラルに向けたニュービジネス

一般部門

社会に役立つビジネスプラン・アイデア

募集要項

最優秀賞 QUOカード 5万円分 1組
フジテック特別賞 QUOカード 3万円分 1組
優秀賞 QUOカード 3万円分 4組
奨励賞 QUOカード 1万円分 3組
質疑応答賞 QUOカード 1万円分 1組
動画賞 QUOカード 1万円分 2組
高校生敢闘賞 図書カード 1万円分 1組

応募資格
近畿2府5県圏内の高校、
(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・三重県・滋賀県・和歌山県)
大阪府下の大学・大学院に通う学生
個人またはグループ、
ただし、大学生・大学院生の場合は、追手門学院大学の学生個人か、
1名以上の追手門学院大学学生を含むグループ。

※賞及び副賞は変更になる場合がありますのでご了承ください。

協賛 フジテック株式会社

主催 追手門学院大学

お問い合わせ先
追手門学院大学ベンチャービジネス研究所
(研究棟6階603 研究所・センターシェアオフィス)
TEL 7567-8502 大阪府茨木市西成2-1-15
TEL 072-665-5277 / FAX 072-643-9597
Email info_vbk@otemon.ac.jp

応募の詳細はこちら

フジテック杯 第12回 追大 学生ビジネスプラン コンテスト

●趣旨

本学の教育理念(目的)は「独立自律・社会貢献」です。
その実践事業の一つとして、ベンチャービジネス研究所
では、学生による「ビジネスプランの作成と発表」の場を
設けます。これによって起業家マインドの醸成と起業の
正しいあり方への関心が高まることを期待します。

●募集テーマ

特別部門: カーボンニュートラルに向けた
ニュービジネス
一般部門: ニーズがあるもののこれまで供給がなかった、
社会に役立つビジネスプラン・アイデア

※カーボンニュートラルについてはこちらを参照
<https://net21.amrj.go.jp/qa/org/Q1399.html>
(独立行政法人中小企業基盤整備機構 J-Net21
「ビジネスQ&A」より)

●審査方法とスケジュール

(1) 第1次審査: 9月10日(金)~10月31日(日)の間に提出された書類を基に審査を行います。
・審査結果は11月中旬にメール・大学HPで通知します。 ※追手門学院大学の学生にはCAMPUS SQUAREに掲示・メール配信します。

(2) 第2次審査: 12月9日(木) 午後(オンライン開催) (予定) ※詳細は追って告知します。
・事前に作成してもらうパワーポイントやプレゼンテーション動画など、オンライン会議システムを使って行う質疑応答を基に審査します。
発表会と2次審査の後、結果発表と表彰をオンライン上で行います。

●審査基準

審査基準 / プラン・アイデアのオリジナル性・市場性・実現可能性・社会貢献性、及び、プレゼンテーション能力。
審査員 / 本学ベンチャービジネス研究所の所員・研究員・顧問、および外部の有識者の中から審査委員会を設けて審査します。

●応募方法・提出先

① 下記のホームページから申込書をダウンロードし、必要事項を記入
ベンチャービジネス研究所HP <https://www.otemon.ac.jp/research/labo/venture.html>

② 応募フォームに申込書を添付して申込み
募集期間: 2021年9月10日(金)~2021年10月31日(日) 必着
コンテスト応募フォームURL <https://ws.formzu.net/dist/S16204150/>

※ 申込書に添付できる容量は6MBまでです。
※ 応募後すぐに返送される「応募申込書を受け付けました」というメールが30分以内に届かない場合は、
下記お問い合わせ先まで至急ご連絡ください(メール推奨)。
※ 電話やFAX、ペーパーでの応募は一切受け付けません。 ※ プラン・アイデア1つにつき応募申込書1部が必要です。
※ 代表者として応募できるのは「1部門1チーム」とします。

●応募資格

近畿2府5県(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・三重県・滋賀県・和歌山県)圏内の高校、大阪府下の大学・大学院に通う学生
個人またはグループ、ただし、大学生・大学院生の場合は、追手門学院大学の学生個人か、
1名以上の追手門学院大学学生を含むグループ。プラン・アイデアの内容が異なれば1人で何件でも応募することができます。

●賞と副賞(予定)

最優秀賞 (QUOカード 5万円分 1組) フジテック特別賞 (QUOカード 3万円分 1組) 優秀賞 (QUOカード 3万円分 4組)
奨励賞 (QUOカード 1万円分 3組) 質疑応答賞 (QUOカード 1万円分 1組) 動画賞 (QUOカード 1万円分 2組)
高校生敢闘賞 (図書カード 1万円分 1組) ※賞及び副賞は変更になる場合がありますのでご了承ください。

●その他の注意事項

・応募プランの知的所有権は応募者に帰属します。受賞したプランは、応募者または承を得て、掲載を公表します。
・審査結果の発表後、著作権や虚偽の事実等が判明した場合は失格となります。応募にあたっては知的財産権等について、
第三者の権利の侵害、その他の問題が生じないよう、十分に注意してください。
・その他、応募に関して不明な点がありましたら、下記問合せ先までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

追手門学院大学ベンチャービジネス研究所(研究棟6階603 研究所・センターシェアオフィス)
住所 〒567-8502 大阪府茨木市西成2-1-15
TEL 072-665-5277 / FAX 072-643-9597 / Email info_vbk@otemon.ac.jp

ベンチャービジネス研究所主催 フジテック杯 第12回追大 学生ビジネスプランコンテスト 最終審査結果発表表 2021.12.9開催		
最優秀賞 (副賞:QUOカード5万円分)		
チーム名	メンバー	ビジネスプラン名
グリーングリーン (特別部門)	吉田真緒・中村萌恵・瀬口裕一郎	UrbaGre (アバグリ)
フジテック特別賞 (副賞:QUOカード3万円分)		
エコリサイクラー (特別部門)	三木彩加・増田勝吾・中野朱里 池田圭駿・中居祐介	スーパーを使って、 生ゴミリサイクル
優秀賞 (副賞:QUOカード3万円分)		
プロジェクトR (一般部門)	黒谷純平・松浦百夏・谷脇有香	アクアポニックスによる 循環型農業施設
3KIH (一般部門)	木原涼花・河野雄太・堀内琴絵 鎌刃はな・宇多弘貴・高橋美羽	イージー・ローリング・ストック (イロス)
毎日メイク! (一般部門)	方志綾花・吉田蒼・竹原菜央 白石陽葵・木原涼花	ウーマンヘルプ
MIDORI (特別部門)	平佑樹・橋本心愛・吉仲昇平 佐藤愛紀・井澤希音	わかめの養殖、 肥料・飼料販売ビジネス
奨励賞 (副賞:QUOカード1万円分)		
ジャンケン (特別部門)	中野竜希・万田健太・森美月・越智美耶妃	サボテン君の時代
ひまわりジンジャー (一般部門)	渡井歩実・大西夏実	もしもし!寄り添い安否確認 サービス
チョレイ (特別部門)	小林雄貴・増井輝・宮城菜緒 本田悠・南野真那果	放置林をマイ・ログハウスへ DIY
動画賞 (副賞:QUOカード1万円分)		
ひまわりジンジャー (一般部門)	渡井歩実・大西夏実	もしもし!寄り添い安否確認 サービス
Cilantro (一般部門)	児玉夏希・井上古都	アレルギーチェックアプリ 「Q&A」
質疑応答賞 (副賞:QUOカード1万円分)		
グリーングリーン (特別部門)	吉田真緒・中村萌恵・瀬口裕一郎	UrbaGre (アバグリ)
高校生敢闘賞 (副賞:図書カード1万円分)		
Cilantro (一般部門)	児玉夏希・井上古都	アレルギーチェックアプリ 「Q&A」

2021年度 ベンチャービジネス研究所主催 第8回追手門グッツコンテスト 最終審査結果発表表		
最優秀賞 (副賞:QUOカード2万円分)		
チーム名	メンバー	グッツ名
チーム石鹸	白石 陽葵・堀内 琴絵・近藤 陽紀 鎌刃 はな・河野 雄太・竹原 菜央	フリスク式?追大石鹸であらうもん
いばらきバル賞 (副賞:QUOカード1万円分)		
チーム名	メンバー	グッツ名
オイシンボ	橋本 心愛・角間 貴也・廣岡 美咲 岸田 倅英・上田 隼大	フードカバ―
優秀賞 (副賞:QUOカード1万円分)		
チーム名	メンバー	グッツ名
はにかむ先生	佐藤 愛紀・荒木 七海・鈴木 敦仁 宮本 陸空・日高 優月	宣伝効果抜群! 当たりつき紙石鹸
カスタネット	向井 章悟・宮城 菜緒・塩野 展大 タティマリアアナウイナタ・井澤 希音	カメラとPC 画面を守るもん
奨励賞 (副賞:QUOカード5千円分)		
チーム名	メンバー	グッツ名
塩おにぎり	笹倉 舞奏・三木 彩加・森元 崇流 小倉 怜莉・本田 悠	1人1個のマイカトラリー (食卓用品)
お肉屋さん	比嘉 歩・井上 紗也香・小野寺 梨樹 林 樹梨・梶原 佑太・南野 真那果	落ちないもん!
河 童	日高 優月・荒木 七海・鈴木 敦仁 佐藤 愛紀・宮本 陸空	ポンチョ型レインカバ―
動画賞 (副賞:QUOカード5千円分)		
チーム名	メンバー	グッツ名
はにかむ先生	佐藤 愛紀・荒木 七海・鈴木 敦仁 宮本 陸空・日高 優月	宣伝効果抜群! 当たりつき紙石鹸
おしゃべりし隊	吉田 蒼・瀬口 裕一郎 河野 雄太・吉田 真緒	もしもしお隣さん〜!
質疑応答賞 (副賞:QUOカード5千円分)		
チーム名	メンバー	グッツ名
カツ井	江見知絃・足立 陸斗 栗原 一輝・大橋 天音・島野 太吾	ジップロック式布マスク

フジテック杯 第12回追大 学生ビジネスプランコンテスト 最優秀賞 グリーングリーン「UrbaGre (アバグリ)」

代 表 吉田 真緒 (経営学部2年)

「第12回追大ビジネスプランコンテスト」で、最優秀賞を受賞させていただきましたチーム「グリーングリーン」の吉田真緒です。今回受賞させていただいたビジネスプラン「UrbaGre (アバグリ)」は、手軽にベランダ緑化ができる、頒布会形式を用いた家庭菜園を提供する事業です。その時期に合った好みの植物の種と栽培に必要な道具の全てが定期的に自宅に届くため、家庭菜園初心者の方でも気軽に始めることが出来るものとなりました。

コンテストのテーマであるカーボンニュートラルについて調べていく過程で、地球温暖化の深刻さ、自分自身も含め、人々の環境問題への意識の低さ、そして、カーボンニュートラル貢献への大切さを知りました。そこで、各家庭レベルでカーボンニュートラル達成に取り組めなにかと考え、「UrbaGre (アバグリ)」を想起するに至りました。

ベンチャービジネス研究所主催の学生研究会や経営学部のゼミでは、ビジネスプランを発表し、その度にプラ

ン内容や発表資料のデザイン、説明順序などを何度もブラッシュアップしました。先生方に様々なアドバイスやご意見をいただいたことにより、より良いビジネスプランになりました。また、その過程で、より湧くプレゼンテーションや伝わりやすい発表資料作成などについて学びました。さらに、メンバーとの連携やデータ活用の重要性も学ぶことが出来ました。

本大会に参加することで、ビジネスの考案から展開まで、初めて真剣にビジネスと向き合いました。そこでは、たくさんの学びや気づき、反省点がありました。このような貴重な経験をし、自分自身も成長することが出来ました。ご指導下さった先生方、チームメンバーに心より感謝申し上げます。今回の経験を活かし、さらなる成長を目指し努めてまいります。



一般財団法人 学生サポートセンター主催 令和3年度 第19回ビジネスプランコンテスト アイデア賞 受賞作「防災deliver+α 国民の意識付け」

代 表 河野 雄太 (経営学部2年)

経営学部2年生の河野雄太です。(一社)学生サポートセンター主催「第19回 学生ビジネスプランコンテスト」で、「【防災deliver+α】国民の意識付け」の代表としてアイデア賞を受賞させていただきました。

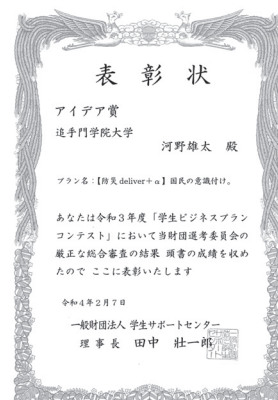
まず、このような貴重で素敵な賞を戴きましたことに、コンテスト関係者の皆様、また本プラン作成に当たってアドバイスをいただいた先生方、メンバー各位に、この場を借りて感謝申し上げます。

このビジネスプランは自分の経験を基に考案したものです。この点ではプランのアイデア作成そのものは、割とスムーズ進みました。ただし、実現可能性の検証、資金繰り、収支予測、ターゲット市場の確定など、事業の細かい部分を作り込む作業は非常に大変でした。

実はもう一つ、「CVG (キャンパスベンチャーグランプリ) 大阪大会」にも挑戦していました。しかし、そこでは上位20位のセミファイナルまでしか残ることが出来ませんでした。正直に準備不足だったと思います。悔しさの残る結果でした。「この大会に全力で取り組んだのか」と聞かれると、自信をもって答えることが出来ません。努力や準備の面でも、周りの出場者のレベルが高く、負けて当然であったとも思います。反対に、もっとプランに対して貪欲に周りの客観的な意見を取り入れるべきだったと今では考えています。ここでも、色々な刺激をもらえました。自分自身、とても成長できた挑戦だったと振り返ることが出来ます。

今回このビジネスプランコンテストを経験したことによって、とても大切なことを学びました。それは自分一人ではここまで結果を残せていなかったということです。ベンチャービジネス研究所主催の「ビジネスプランコンテスト対策セミナー」に参加し、ビジネスとは何か具体的に学ばせていただきました。また、見やすく分かりやすいプレゼンテーションの作り方なども教わりました。プライベートでも空いている時間にプランのご指導をしてくださり、一緒にブラッシュアップを何度も重ねてくださった福嶋先生には、特にお礼申し上げたいと思います。

最後に、私たちがアイデア賞をいただいたプランは、地震災害の多い日本で「防災バックの用意があるのか? 何が入っていたか?」といった些細な気付きから想起したプランです。今のところ、このプランで実際に起業する予定はありませんが、日本を災害から守りたいという気持ちは変わりません。「皆様、防災備蓄は出来ていますでしょうか?」という問いかけで、私の感想を終えたいと思います。



まちライブラリーにグッズコンテスト入賞者紹介パネルが展示されました

追手門学院大学総持寺キャンパスカフェテリア内に設置された「まちライブラリー」に、第8回追手門グッズコンテスト入賞作品のパネルが展示されました。

最優秀賞、優秀賞2件、いばらきバル賞の計4件の作品が紹介されています。



報告 学生研究会の参加学生が学外コンテストで受賞しました

一般財団法人 学生サポートセンターが主催する「令和3年度 第19回 ビジネスプランコンテスト」に応募した、本学経営学部2年生の河野雄太さんのチームが、応募作「防災deliver+α 国民の意識付け」でアイデア賞を受賞しました。

河野さんは、ベンチャービジネス研究所が主催する、ビジネスプランコンテスト対策セミナー「学生研究会 (2021.10.7～11.18開催 計10回)」に参加し、講師の先生からのアドバイスを生かしてプランをブラッシュアップさせてコンテストに臨みました。(本紙5ページに、河野さんの受賞コメントを掲載)

ほくせつ探検大学活動報告

経営学部 宮崎 崇将（ベンチャービジネス研究所所属）

ほくせつ探検大学は、北摂地域の活性化を目的に北おおさか信用金庫と株式会社サイネックスと提携し、主に情報発信などに取り組むプロジェクトです。日常的な取り組みとして北摂地域の店舗やスポットを取材し、SNS（Instagramなど）、紙（リーフレットなど）、動画、ラジオなどの媒体を通して情報発信しています。

昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言の発出などにより特に上半期は日常的な取材を実施することができませんでした。そのため、「Zoom」などのオンラインツールを活用して、活動に関係する学習や取材の計画などを行いました。

感染状況が落ち着いてきた下半期には、10月17日に「地域連携学生フォーラム in OSAKA 2021」（会場：グ

ランフロント大阪）で、田里媛菜さんや中谷幸輝君がほくせつ探検大学の活動報告を行いました。

8月に千里阪急（百貨店）からイベントのご提案をいただき、11月17日～23日に「千里さんぽ」という名称でコラボ企画を実施しました。具体的には、学生がこれまで取材してきた店舗や商品などの出店や、北摂7市3町に関するクイズラリー、ほくせつ探検大学の活動紹介などを行いました。

12月8・9日には北おおさか信用金庫主催「きたしんビジネスマッチングフェア」に出展しました。

12月から3ヶ月連続で、水野浩児教授のラジオ番組「水野浩児の月曜情報スタジオ」に学生が出演しました。



学生による店頭販売
（千里さんぽ）



地域の企業との交流
（きたしんビジネスマッチングフェア）



活動の紹介（地域連携学生フォーラム in OSAKA 2021）

2021年度ベンチャービジネス研究所 所長・所員・研究員・顧問一覧

役 職	氏 名	所属等
所 長	村上 喜郁	経営学部教授
所 員	池内 博一	経営学部准教授
所 員	池田 信寛	経営学部教授
所 員	石盛 真徳	経営学部教授
所 員	稲葉 哲	地域創造学部専任講師
所 員	井上 秀一	経営学部准教授
所 員	岡崎 利美	経営学部准教授
所 員	佐藤 敦信	地域創造学部准教授
所 員	朽尾 安伸	経営学部准教授
所 員	長岡 千賀	経営学部准教授
所 員	朴 修賢	経営学部教授
所 員	葉山 幹恭	地域創造学部専任講師
所 員	水野 浩児	経営学部教授
所 員	宮宇地俊岳	経営学部准教授
所 員	宮崎 崇将	経営学部准教授

役 職	氏 名	所属等
所 員	安本 宗春	地域創造学部専任講師
所 員	山下 克之	経営学部教授
所 員	李 建	経営学部教授
研究員	金川 智恵	経営学部教授
研究員	梶原 晃	久留米大学文学部教授
研究員	田淵 正信	客員教授・公認会計士・税理士
研究員	村田 崇暢	経営学部非常勤講師
顧 問	金森喜久男	一般社団法人 情報セキュリティ 関西研究所代表理事 パナソニック株式会社客員
顧 問	木田 洋一	一般社団法人 広報支援機構理事 岩井コスモ証券監査役 毎日放送顧問
顧 問	合田 順一	茨木商工会議所会頭
顧 問	寺本 博美	三重中京大学名誉教授
顧 問	西岡 健夫	追手門学院大学名誉教授

2022.1.1現在

◆所員・研究員の募集

① 所員・研究員の募集（教員）

ベンチャービジネス研究所の活動にご参加いただける教員（所員・研究員）を募集しております。ベンチャービジネスや事業承継についての調査研究活動・出版等の事業を実施しています。入所希望の方は事務局までご連絡ください。

② 学生研究員の募集

ベンチャービジネス研究所主催の企画や事業にご参加いただける学生研究員を募集しております。

- ・ビジネスプランの企画やプレゼンテーションなどについて学ぶ研究会
- ・北摂地域の魅力を発信するプロジェクト
- ・アイデアグッズやビジネスプランのコンテスト

その他さまざまなイベントを実施しています。

ベンチャービジネス、地域貢献などに興味のある方はぜひご参加ください。先生方からも学生にお声かけください。

Newsletter vol. 24

■ 編集・発行 2022年3月31日 印刷
2022年3月31日 発行

■ 編集代表者 村 上 喜 郁

■ 印 刷 所 川西軽印刷株式会社

■ 発 行 所 追手門学院大学 ベンチャービジネス研究所
〒567-8502 茨木市西安威2-1-15
TEL/072(641)7374 FAX/072(643)9597
E-mail: ventureb@otemon.ac.jp
<http://www.otemon.ac.jp/research/labo/venture/>